

第59回 沖縄県中学校バレーボール競技大会要項

- 1 主 催 沖縄県中学校体育連盟 沖縄県教育委員会
- 2 共 催 名護市教育委員会
- 3 後 援 沖縄県市町村教育委員会連合会 沖縄県中学校長会 (公財) 沖縄県体育協会
沖縄県バレーボール協会
- 4 期 日 平成29年7月22日(土)～24日(月)
- 5 日 程 平成29年7月21日(金) 開会式 16:00(県総合運動公園レクドーム)
7月22日(土) 競技開始 9:30(1回戦～3回戦)
7月23日(日) 競技開始 9:30(準々決勝戦～決勝リーグ戦各1試合)
7月24日(月) 競技開始 10:00(決勝リーグ戦)
閉会式 競技終了後
- 6 会 場 22日(土) 『21世紀の森体育館』 ・ 『宜野座中学校体育館』
『久志中学校体育館』
23日(日) 『21世紀の森体育館』
24日(月) 『21世紀の森体育館』
- 7 申込締切日 各地区中体連の〆切日を厳守すること。
(国頭6/13、中頭6/14、那覇6/15、島尻6/14、宮古6/19、八重山6/9)
- 8 申込方法 県中体連ホームページから大会参加申込用紙をダウンロードし必要事項を入力し、プリントアウトしたもの捺印を受け、各地区専門部長から地区中体連事務局を通じ、一括して県中体連事務局まで申し込むこと。
- 9 企画運営責任者 県中体連バレーボール専門部
◎岸良 徹(与勝) ○砂川 龍馬(小禄) ○中村 正明(大宮)
山田 政和(美東) 当真 正嗣(宜野湾) 内山 洋介(大浜)
我那覇宗芳(山内) 比嘉 眞仁(上山) 下地 覚(真和志)
池田 武(与那原) 岸本 政史(上野) 当真 正嗣(宜野湾)
具志 吉正(兼城)
- 10 参加資格 (1) 地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチームとする。
(2) 選手の引率は出場校の校長・教員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で地区県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
(3) 九州・全国大会への代表権を獲得した場合は県代表としての自覚と責任を持ち、県中体連の計画および指導を遵守し、九州大会・全国大会へ参加できる学校であること
(4) 参加資格の特例を認める。[開催基準8(7)複数校合同チーム]
- 11 参加制限 (1) 選手12名・監督・コーチ・マネージャーの計15名以内とする。
(マネージャーは生徒とする。)
- 12 参加料 (1) 参加選手一人につき500円とする。申込みと同時に納入すること。
- 13 競技形式 【1日目】トーナメント戦 【2日目】トーナメント戦・決勝リーグ1回戦実施
【3日目】ベスト4のチームによる決勝リーグ戦
- 14 競技規則 平成29年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則及び平成29年度(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における「6人制の取り扱い」に準ずる。
- 15 競技方法 (1) ネットの高さ 【男子】2m30cm 【女子】2m15cm
(2) 県中学校バレーボール選手権大会(県総体に最も近い大会)ベスト4をシード
(3) 各地区総体の1位チームをシード
(4) 同地区チームを1回戦からあてない(1/8ゾーン)
(5) 順位決定方法
① 3勝したチーム ② 2勝したチーム
③ 2チーム以上が同率のとき ④ さらに同率のとき
A: 全試合の取得セット数 A: 全試合の得点の総数
B: 全試合の喪失セット数 B: 全試合の失点の総数
C: 取得セット率 C: 得点率
◎C = $\frac{A}{B}$ の大きい方を上位とする。 ◎C = $\frac{A}{B}$ の大きい方を上位とする。
- 16 試合球 ミカサ検定4号球(MVA400)
- 17 組合せ 本部(専門部)抽選とする。 6月22日(木) 15:30
- 18 表彰 (1) 優勝校に賞状・優勝旗、第2位・第3位校に賞状を授与する。
(2) 優勝、準優勝チームの登録全選手に賞状を授与する。
- 19 その他 (1) 男女優勝、準優勝チームに九州中学校体育大会への出場資格を与える。
(2) ユニホーム番号は1～18番までとする。
(3) I Fの記録員を各チームより1人出す。
(4) 「監督会議」を7月21日(金)15:00～、「県総合レクドーム横」にて行う。
(5) 監督・コーチ・選手変更は、大会初日の監督・役員打合せ終了後に提出すること。
(6) 県中体連では別紙「個人情報保護方針」に基づき、県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。